

特定非営利法人未来守りネットワーク 指定番号第3号 (河川協力団体活動状況 出雲河川事務所)

NPO法人未来守りネットワークは、水質浄化に向けたアマモ・コアマモの調査研究や中海の水を大切にすることの重要性子供たちに学んでもらうため環境学習会を開いています。

アマモ・コアマモ再生活動

同団体は、2005年から水中の汚れを吸収して小さな生物のすみかとなるアマモ場の再生に取り組んでいます。勉強会やイベントを開催し、地域の住民と一緒に活動しています。



アマモ・コアマモ勉強会

アマモ・コアマモの生育状況や水質浄化への取り組み等について、報告しました。(境港市 6月21日)



アマモ・コアマモ採取イベント(6月21日)

アマモ・コアマモ移植イベント(11月14日)

初夏にアマモ・コアマモの種子採取イベントを実施するとともに秋には、アマモの種子をシートに植え付け、外江港(境港市)に設置しました。

寄り藻の回収及び肥料への利活用



漁協者と共同による寄り藻の採取(6月21日)

田植え 5月10日、稲刈り 9月21日(日野町)

中海北部海域で漁業者と共同による寄り藻の採取を行うとともに、海藻肥料の利活用と普及に向け、海藻肥料を使用しているたんぼにおいて、境港市の子供たちが田植えや稲刈りを体験するイベントを行いました。

河川管理への協力

アマモ・コアマモは、窒素・リンを吸収し富栄養化を食い止める働きがあります。中海では、同藻が生育している浅場が少なくなっており、同団体が、アマモ場の再生に向け活動されることより、中海の水質浄化・改善に役立っています。

中海の寄り藻を回収することより、富栄養化につながる窒素・リンの除去に役立っています。

同法人の寄藻回収量(4月～12月末時点206トン) 窒素・リン換算除去量は以下のとおり
 ・窒素は、**370.8kg**が除去されています。中海の日当たり生活系流入量の**0.44日分**です。
 ・リンは、**38.5kg**が除去されています。中海の日当たり生活系流入量の**0.577日分**です。

特定非営利法人自然再生センター 指定番号第4号 (河川協力団体活動状況 出雲河川事務所)

認定NPO法人自然再生センターは、宍道湖から中海にかけて、自然の歴史や生態の調査・研究を行うとともに、親水の間を活用して地域住民や地元の児童と藻刈り等を実施するなど、環境教育の普及活動を行っています。

We♡中海(中海でオゴノリ採り&サツマイモ掘り)



中海でオゴノリを刈り取り、肥料としてサツマイモを栽培することにも取り組んでいます。中海の水質浄化だけでなく、海藻資源の利活用に向けて活動されています。

平成26年10月23日 八束町江島港で八束町内の児童等40名が参加して中海の海藻・オゴノリ採りを実施しました。



オゴノリ採り終了後は、海藻を肥料としサツマイモを作っている畑に移動し、サツマイモ掘りを体験しました。

河川管理への協力

中海の海藻・オゴノリを回収することにより、富栄養化につながる窒素・リンの除去に役立っています。夏場に過剰繁殖したオゴノリは、水中で腐敗すると硫化水素を発生させ水質悪化の原因となるため、腐敗前に刈り取っています。

同法人のオゴノリ回収量(4月～12月末時点89.8トン) ※窒素・リン換算除去量は以下のとおり
・窒素は、**161kg**が除去されています。中海の日当たり生活系流入量の**0.19日**分です。
・リンは、**16.8kg**が除去されています。中海の日当たり生活系流入量の**0.25日**分です。

瀬戸アユモドキを守る会 指定番号5号 河川協力団体活動報告(吉井川水系 岡山河川事務所)

瀬戸アユモドキを守る会は、岡山市東区瀬戸町南方に整備された「瀬戸アユモドキの里」において、アユモドキの保全を目的に、稚魚生育状況調査及び稚魚観察会等を実施しています。また、小学校やキンビール岡山工場等とも連携し、アユモドキを中心としたイベント(アユモドキ水辺教室)や、河川環境保全のために清掃活動にも取り組んでいます。

主な活動内容



稚魚生育状況調査



アユモドキ水辺教室



稚魚観察会



清掃活動

主な活動場所



(指定団体名) 指定番号6号 河川協力団体活動報告(芦田川水系 八田原ダム管理所)

伊尾小谷地区自治会は、当該地区の住民が主体となり、地域振興、環境保全、体育振興、福祉活動など幅広い分野で活動を行っています。八田原ダム周辺においては平成10年よりギフチョウ（重要種）の観察会、生息環境の保全等、地元小学校や地域の関係者が協働して保護活動を実施しています。

ギフチョウ観察会



代表者から参加者にギフチョウの生態についての説明



ギフチョウの生態に関するパネルの展示

令和6年4月13日に観察会（約30名参加）を実施しました。当日は残念ながらギフチョウを確認することができませんでした。

ギフチョウ保全区保護活動



刈払機や鎌を使つての除草作業状況



ミヤコアオイの補植作業状況



保護区内で生育しているミヤコアオイ



除草作業終了後、代表者から参加者に労いの言葉

佐波川に学ぶ会 指定番号8号 河川協力団体活動状況(佐波川水系 山口河川国道事務所)

佐波川に学ぶ会は、佐波川に関する学習を計画的・継続的・体験的に行い、河川への理解・認識を深めるために様々なイベントを行っています。河川管理者が行う『水辺安全教室』『水生生物調査』を佐波川に学ぶ会の河川愛護イベント『佐波川で遊ぶカレー大作戦』と共同開催するほか、川に親しみ、川の大切さを学ぶ川の勉強会(園児・小学生)や、河川敷の除草やゴミ拾いを行うなど幅広く活動しています。

主な活動場所



主な活動内容

河川愛護イベント実施の様子



安全利用点検参加の様子



除草などの河川美化活動



河川勉強会の開催



ウエスコ・エコクラブ 指定番号第9号

河川協力団体活動報告(斐伊川水系 出雲河川事務所)

ウエスコエコクラブは、宍道湖夕日スポットがオープンするのに伴い、(株)ウエスコ島根支社の社員の有志が、ボランティアで夕日スポットの清掃活動を行うために結成された団体です。
夕日スポットは、河川区域部分と道路区域部分があり、河川区域部分について、平成19年から出雲河川事務所と河川アダプトプログラムの協定を締結し清掃活動をしています。

主な活動内容



夕日スポットは、道路区域と河川区域があり同団体は両区域の清掃を実施しています。

縁組区間：宍道湖夕日スポット河川敷の430m区間 (松江市袖師町地先)
宍道湖の水際から夕日テラスの階段護岸までの河川区域内が河川協力団体の活動範囲です。

主な活動場所



夕日スポット・クリーンサポーター 指定番号第10号 河川協力団体活動報告(斐伊川水系 出雲河川事務所)

宍道湖夕日スポットがオープンするのに伴い、地域で維持管理することができないか検討され、地元企業が発起人になり、夕日スポット周辺企業等に意向を確認したところ多くの企業等から清掃ボランティア参加の賛同を得ることができ、施設オープン当時から清掃活動を行っています。地元企業、青年会議所、警察署、県など20団体、約350名で構成されています。

主な活動内容



清掃活動



夕日スポットは、道路区域と河川区域があり同団体は両区域の清掃を実施しています。

縁組区間：宍道湖夕日スポット河川敷の430m区間 (松江市袖師町地先)

宍道湖の水際から夕日テラスの階段護岸までの河川区域が河川協力団体の活動範囲です。

主な活動場所



(公財)ホシザキグリーン財団 指定番号11号 河川協力団体活動報告(斐伊川水系 出雲河川事務所)

ホシザキグリーン財団は、島根県内に生息する野生生物の保護や生息環境を保全するという視点から、生息状況の調査研究を行っています。

宍道湖・中海においても、生息する鳥類・魚類・昆虫類・水生生物について調査研究をしており、その成果を踏まえ、宍道湖西岸でバードウォッチングや水辺の生きもの採取・観察会を開催しています。

主な活動内容



バードウォッチング



主な活動場所



宍道湖の生物調査



漂着物の観察



NPO法人水の都プロジェクト協議会 指定番号12号 河川協力団体活動報告(斐伊川水系 出雲河川事務所)

水の都プロジェクト協議会は、嫁ヶ島を中心に宍道湖周辺の自然環境の保護や利活用に取り組む目的で、地域住民らにより設立されました。

主に、嫁ヶ島や周辺で清掃活動等を実施するとともに、イベントで環境学習会を開催し、子供達に水生生物調査や水質調査を体験してもらうなど、宍道湖の河川環境保全に向けた啓発活動を行っています。

嫁ヶ島の草刈りや宍道湖畔の州浜づくりなどの 水辺環境を守る保全活動を行っています

●活動内容

■嫁ヶ島保全管理



草刈り作業



刈り草を袋詰め



実施前



実施後

- 平成20年から実施して参加者約100人(年間)
- 草刈りと、洗掘された部分の表層保護

■宍道湖畔 (山居川沿い)州浜づくり



漂流物清掃



実施前



実施後



水辺体験

- 令和元年10月13日から実施
- 参加者約80人(年間)
- ゴミ拾い、ヨシ(水辺に生えてる植物)刈り

■歩いて渡る嫁ヶ島



注意事項説明



水中参道



ガイドのお話



しじみ観察

- 宍道湖の自然、水環境保全への関心を高めるため、湖岸から水中を歩き嫁ヶ島へ渡る
- 水質を直接体感し、水環境の現状を知ってもらうための水辺学習会を開催
- 参加者 約200人

●河川管理への導き

- 嫁ヶ島の定期的な草刈りにより、表層保護等により美しい自然景観を維持し、植生回復を図り、野鳥の営巣の場を守る。
- 宍道湖畔州浜の草刈り、漂流物清掃管理により、州浜の生態系を保全し、親水性や水辺環境学習の場として利用。

NPO法人中海再生プロジェクト 指定番号13号

河川協力団体活動報告(斐伊川水系 出雲河川事務所)

将来良好な河川環境を残すとともに、きれいで親しみのもてる川や湖とするため、「中海アダプトプログラム」により地元企業・住民並びに出雲河川事務所及び地元自治体と協働して、中海沿岸の河川清掃活動を実施しています。

中海の環境改善への関心を高めてもらおうと「中海環境フェア」を毎年夏に開催し、河川環境保全に向けた啓発活動を実施しています。

主な活動内容



清掃活動



主な活動場所



NPO法人しまね体験活動支援センター 指定番号14号 河川協力団体活動報告(斐伊川水系 出雲河川事務所)

子供達がふるさとの川での河川調査体験を通してふるさとを愛する心を育んだり、身近な環境問題に関心を抱いたり、そのことを流域の住民に情報発信して河川環境の保全に努めることを目的として、斐伊川・神戸川流域の小中学校等の参加・協力を得て、「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」に取り組んでいます。
出雲河川事務所の水生生物調査とも連携し、地元の河川で年2回水質及び水生生物調査を実施している。

主な活動内容



水生生物調査の指導者研修会



「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」
成果発表会



**河川
基金**



宇市から見た斐伊川・神戸川流域

2023年度 ひいかわ かんどがわ 斐伊川・神戸川 流域環境マップ づくり

今年は
534人
参加

事業の概要

主催：NPO法人しまね体験活動支援センター
共催：斐伊川・神戸川流域の小中学校協働会、鳥取県中山間地域研究センター

目的：「ひいかわ」「かんどがわ」の川を「ふるさと」の川として愛する心を育むこと、身近な環境問題に関心を抱くこと、そのことを流域の住民に情報発信して河川環境の保全に努めること。また、調査結果を基にふるさとを愛する心を育むこと、身近な環境問題に関心を抱くこと、そのことを流域の住民に情報発信して河川環境の保全に努めること。

実施内容：調査・調査結果の発表・調査結果の発表

実施期間：2023年5月25日～11月18日

実施場所：鳥取県中山間地域研究センター、斐伊川・神戸川流域の小中学校

参加費：無料

問い合わせ先：しまね体験活動支援センター
TEL: 0854-476-3828
E-mail: chusan@shimane.jp



参加校等

調査校	発表校
斐伊川小学校 斐伊川中学校 斐伊川高等学校	斐伊川小学校 斐伊川中学校 斐伊川高等学校

インターネット公開中

斐伊川・神戸川流域環境マップは、ホームページから見ることもできます。

調査報告書ダウンロード
https://www.shimane-npo.jp/

マップダウンロード
https://www.shimane-npo.jp/

調査・発行 NPO法人しまね体験活動支援センター
〒690-0811 鳥取県鳥取市西町1-1-100
鳥取県中山間地域研究センター企業振興スタッフ
〒690-0842 鳥取県鳥取市西町1-1-100 TEL: 0854-476-3828
E-mail: chusan@shimane.jp

この事業は（公財）河川財団の河川基金助成事業、（一社）中国建設弘済会「中国地方地域づくりに貢献する事業」の助成を受けています。 2024年9月発行 発行所

自然と人間環境研究機構 指定番号15号

河川協力団体活動報告(斐伊川水系 出雲河川事務所)

特定非営利活動法人自然と人間環境研究機構は、宍道湖シジミなどの調査研究や、サイエンス論文で問題となった殺虫剤農薬についての情報収集を行っています。また、宍道湖・中海沿岸の幼稚園や小学校の園児・児童たちと水辺に親しむ環境学習活動を行っています。

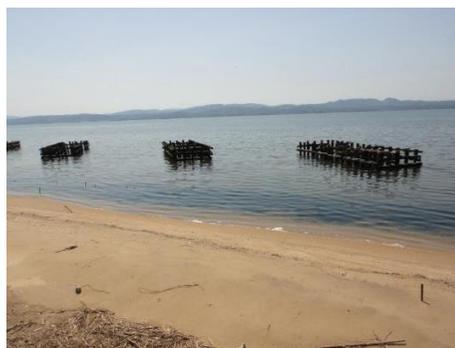
個別活動内容



ネオニコチノイド農薬の使用が始まった1993年以降、宍道湖の甲殻類や昆虫類他が激減し、これらを餌とするワカサギとウナギなどの激減が起きたことが、2019年のサイエンスや、その後の陸水学雑誌に掲載されています。

シジミを除く宍道湖魚類の漁獲量減少の要因と考えられる甲殻類や昆虫類などの減少は、近年、調査が行われておりません。

1993年以前の1987年から2002年まで行われていた宍道湖の昆虫類のトンボ類の羽化殻調査を、上の写真の園灘で2020年から今年の2024年まで行いました。1994年に激減したウチワヤンマだけでなく、ナゴヤサナエも激減していることが確認されています。



宍道湖の魚介類増殖などのため、湖岸に設置されている岩場は年月の経過とともに崩壊し、写真の沖の岩場は、杭だけです。

劣化しにくい铸铁製パネル枠の铸铁田籠(チュウタロウ)設置に関わる湖岸での魚類調査を行いました。



中海に流入する意東川で、昨年引き続き今年の2024年7月に、幼稚園児を対象とする環境学習を行いました。皆で魚や川虫を採取し、川の生き物を観察しました。

河川管理への貢献

宍道湖や中海に生息する生き物について、調査研究とそれに基づく環境学習を行い、その器である宍道湖・中海および流入河川について地域住民の理解と愛着を深め、河川管理に貢献したいと考えています。

土師ダム桜守プロジェクト 指定番号第16号

河川協力団体の活動状況(江の川 土師ダム管理所)

【活動概要】 土師ダムの桜を後世に継承し、さらには桜の名所100選(日本さくらの会) に選定されることを目指し、桜を愛し楽しむ人を「桜守」として登録し、交流協働の中で、桜の維持・保育を行っていきとともに、桜に関する様々な情報を発信していくことを目的として活動を行っている。

主な活動内容

桜守プロジェクト

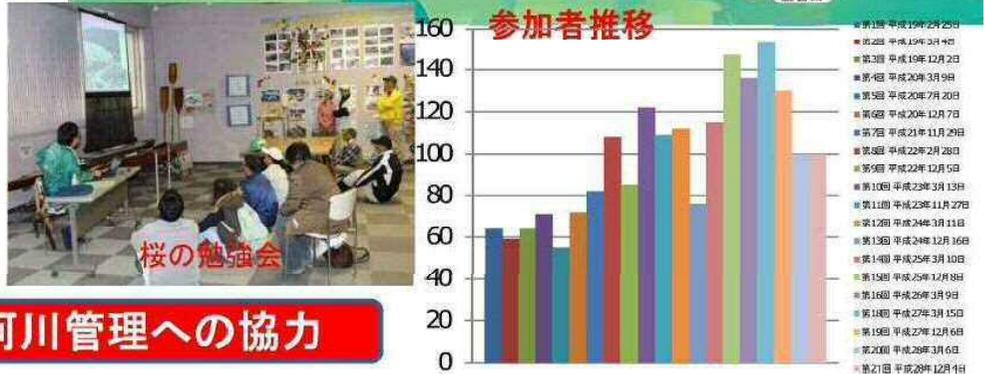


H28.12.4実施 約100名参加



河川管理への協力

土師ダム(八千代湖)周辺にある桜の維持・保育及び周辺の伐採、除草、清掃等の作業を河川管理者と連携して行う。



境港清港会(指定番号第18号) 河川協力団体の活動状況(出雲河川事務所)

【活動概要】

境港清港会は、境水道を主な活動範囲とし、清掃船による定期的な水面浮遊物、漂着物の回収及び処分を行うほか、広報車での環境美化を呼びかけといった巡回啓発を実施しています。

主な活動内容

- 清掃船による水面浮遊物や漂着物の回収・処分
H29.3月の指定以降、H29.12月時点で計61回実施し、約100㎡の塵芥を回収



- 広報車による環境美化を呼びかける巡回啓発活動(7~10月)

河川管理への協力

境水道は河川区域、港湾区域及び漁港区域が入り交じって指定されている区域であり、漁船、運搬船、貨客船など様々な船舶が通行する大変重要な水域となっています。河川環境の維持や船舶の安全な航行のため、境水道を漂着物のない清潔な環境に保つことで河川の清潔保持に寄与しています。

特定非営利活動法人 未来守りネットワーク 指定番号第19号 河川協力団体活動状況(日野川水系 日野川河川事務所)

特定非営利活動法人未来守りネットワークは、鳥取県・島根県に跨がる中海圏域の住民に対して、環境浄化活動、まちづくり事業及び芸術文化、スポーツを愛する青少年育成に関する事業を行い、住民主体の地域社会の活性化と発展に寄与することを目的としている団体です。

主な活動として、日野川流域で絶滅危惧種(ミナミアカヒレタビラ)の調査、海藻肥料による地域再生や河川の水質浄化に関する講演会等を行っています。

主な活動内容



絶滅危惧種調査状況



絶滅危惧種(ミナミアカヒレタビラ)



「海藻肥料の現状と地域再生」に関する講演



海藻肥料を利用した田植えイベント

特定非営利活動法人さくらおろち 指定番号第20号 河川協力団体活動状況(斐伊川水系 出雲河川事務所)

特定非営利活動法人さくらおろちは、尾原ダム周辺地域並びに斐伊川流域住民に対して、様々な事業を実施し、上下流域の相互交流を図るとともに、積極的に地域の情報を発信し、地域の活性化と自然環境の保全に寄与することを目的としている団体です。

主な活動として、地元企業等と連携し、さくらおろち湖(尾原ダム貯水池)の環境美化活動や小学生と共同で水質調査等を行っています。

主な活動内容



さくらおろち湖周辺の除草



宍道湖周辺のヨシ刈り



尾原ダム放流イベントへの協力



小学生と共同で水質調査



「そば打ち交流会」の開催

つかだに ば ば
塚谷・馬場の明日を考える会 指定番号第21号
河川協力団体活動状況(吉井川水系 苦田ダム管理所)

塚谷・馬場の明日を考える会は、苦田ダムの下流に位置する塚谷・馬場の発展と快適な生活環境をつくることを目的としている団体です。

主な活動として、国道179号、塚谷公園、苦田鞍部ダム周辺の清掃等の環境美化活動を行うとともに、「芋煮会」や「初日の出を迎える会」などの地域交流活動等を行っています。

活動場所・主な活動内容



「芋煮会」の開催



苦田鞍部ダム周辺の清掃



「初日の出を迎える会」の開催

みまさかのくに いろど
美作国「彩りの森づくり」実行委員会 指定番号第22号
河川協力団体活動状況(吉井川水系 苫田ダム管理所)

美作国「彩りの森づくり」実行委員会は、美作国建国から先人達が残してくれた環境を次の1300年に伝承し、人と自然が織り成す「彩りの森づくり」を行うことを目的とすると共に、地域住民や来訪者の憩いの場としての環境整備を目的としている団体です。

主な活動として、奥津湖(苫田ダム貯水池)に浮かぶ城峪城址である浮島で、四季の彩りが楽しめる「さくら、もみじ、つつじ」の植樹、除草や清掃などの環境美化活動を行うとともに、民間企業と協力した「水源の森づくり」を行っています。

活動場所・主な活動内容



旭川みの広場を愛する会 指定番号第23号 河川協力団体活動状況(旭川水系 岡山河川事務所)

旭川みの広場を愛する会は、旭川河川敷の環境保全と、維持管理に努めるとともに、地域住民の交流・親睦、さらには健全な身体維持・健康増進を図る等、有効活用することを目的としている団体です。
主な活動として、河川空間を有効活用できるよう、河川敷の除草・清掃を実施するとともに、「こいのぼりを楽しむ会」「クリスマスキャンドルのタベ」などの地域交流イベント等を開催しています。

活動場所・主な活動内容



「こいのぼりを楽しむ会」の開催



河川敷の除草・清掃



「クリスマスキャンドルのタベ」の開催

高橋建設株式会社 指定番号24号

河川協力団体活動報告(高津川 浜田河川国道事務所)

高橋建設株は、島根県西部を流れる高津川において、企業の地域貢献活動として、同社員が河川敷地の漂流ゴミ等の回収及び清掃を実施しており、当事務所が募集したボランティア制度(水辺ENプログラム)にも参加し活動しています。

主な活動内容



堤防・河川敷清掃活動



主な活動場所



高津川 右岸 L=800m:
高角橋から飯田橋付近
高津川 左岸 L=1300m:
飯田橋から上流
合計L=2100mの範囲内で活動を実施



水辺EN組プログラム



水辺ENプログラムは、河川の一定区間について、住民団体、河川愛護団体、企業等の自発的な河川ボランティアを募集し、水辺(河川敷)と縁組するもので、行政と住民がパートナーとなって、美しい河川環境をつくり出そうとする制度です。高橋建設株は、この制度に平成22年から参加しています。

Pegasus クラブ 指定番号25号

河川協力団体活動報告(高津川 浜田河川国道事務所)

Pegasus クラブは、スポーツ・文化等の活動を生涯を通じて楽しみ、多くの人々が交流することにより、明るい社会づくりに貢献することを目的として設立された総合型スポーツクラブです。高津川で「カヤック」などの河川敷を利用しており、地元自治会と連携し、除草や清掃を実施するとともに、カヤックを体験する参加者に河川の安全利用講習を行っています。

主な活動内容

親水護岸付近の除草・清掃



カヤック体験を通じた河川の安全利用講習



主な活動場所



活動範囲



水江の渡し跡公園 指定番号第26号 河川協力団体活動状況(高梁川水系 岡山河川事務所)

「水江の渡し跡公園」は、昭和2年から90年続いた高梁川を往来する渡し船「水江の渡し」の歴史を次世代に継承していく為に活動している団体です。

主な活動として、水江の渡し跡周辺において、地域住民(倉敷市民)の発展と憩いの場を提供する目的で、水江の渡し跡の碑、渡船場跡、桜・巨木周辺の清掃・除草、及び自然環境の保護などの活動をしています。

活動場所・主な活動内容



河川敷の清掃・除草状況

江の川流域里川エコネット 指定番号第28号 河川協力団体活動状況(江の川水系 三次河川国道事務所)

江の川流域里川エコネットは、「里川江の川」の復活を目指し、馬洗川「八次地区水辺の楽校」周辺を中心に川に親しめる環境づくりや水辺の楽校と一体化した活用を推進するとともに、次世代の里川を担う人材育成を目的に川をいかした活動をしている団体です。

主な活動としては、水辺の楽校周辺の草刈り、ワンド・分水路の環境保全のほか、川の植物・生物・野鳥の観察会等の河川環境学習の活動、川漁体験・川遊び・イカダ下りなど川と触れ合えるイベントを開催しています。

活動場所・主な活動内容



河川敷の除草、清掃



イカダ下り



水生生物・植物の観察会



川遊び、川漁の体験



ワンド、分水路の環境整備

箭田地区まちづくり推進協議会 指定番号29号 河川協力団体活動報告(高梁川水系 岡山河川事務所)

箭田地区まちづくり推進協議会は、平成12年度に発足し、地域コミュニティの推進を図ることを目的に5つの班から構成される協議会です。各班は、環境美化・エコ、福祉、青少年育成、防犯・防災、健康づくりに分類され、様々な視点から地域の課題に取り組んでいます。また、学校や福祉系事業所と連携を深めており、河川敷を活用した地域連携防災訓練なども毎年開催しています。

主な活動内容



ロードローラーによる繁茂抑制



防災訓練

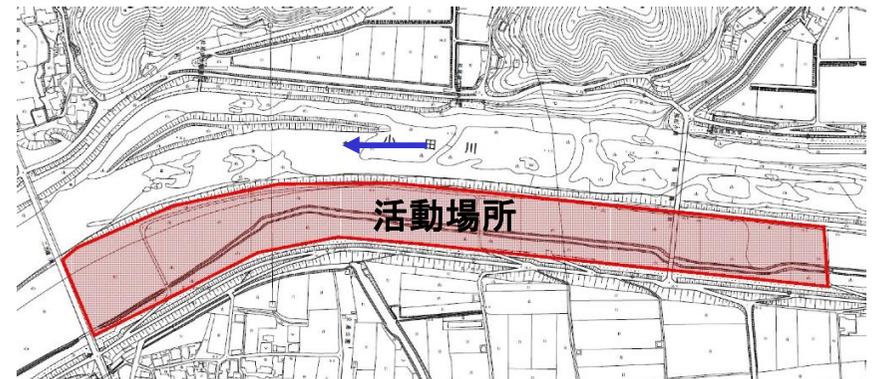


草踏みウォーク



マレットゴルフ

主な活動場所



せせらぎ会 指定番号第30号

河川協力団体活動報告(太田川水系 太田川河川事務所)

せせらぎ会は、広島市安佐南区の太田川水系古川上流部一帯に整備された「せせらぎ公園」の有効利用と美化推進を図り、もって地域環境の保全と健全な憩いの場の育成に寄与することを目的に昭和54年に設立された団体です。

主な活動として、古川の清掃を昭和49年から継続して行い、河川管理者が実施する古川の河川安全利用点検にも参加しています。また、7月にはクリーン太田川の参加、せせらぎ会主催による「せせらぎの夕べ」を開催し、地域とふれあいの輪を広げています。

主な活動内容



河川清掃(春・夏)



クリーン太田川(7月)



主な活動場所



山陽工業株式会社 指定番号31号

河川協力団体活動状況(太田川水系 太田川河川事務所)

山陽工業株式会社は、土木建築工事の請負、設計・監督並びに建設コンサルタント業を営む会社です。平成20年から太田川水系の一斉清掃活動「クリーン太田川」に参加しているのを始め、令和元年からは会社に程近い旧太田川(本川)において、従業員がボランティアで定期的に清掃活動を行い、河川環境の向上を図っています。

主な活動場所



主な活動内容



主な活動範囲



堤防上に整備された河岸緑地の歩道、基町環境護岸の階段や遊歩道など、清掃・除草活動を定期的に行っている。清掃活動は通勤・通学の時間帯に及ぶため、歩行者・自転車との接触を避ける目的で「河川清掃中」のベストを全員が着用し、タバコの吸い殻や紙くず、落ち葉を回収するため、火ばさみや竹ぼうき、竹熊手を使用している

ひろしまSUPクラブ 指定番号32号

河川協力団体活動状況(太田川水系 太田川河川事務所)

広島SUPクラブは、水の都ひろしまの太田川を活用し、SUP(スタンドアップパドルボード)の普及発展に努めることを目的に、平成29年に設立された団体です。主な活動としては楠木大雁木や周辺河岸を清掃するほか、8月のとうろう流し時の回収作業補助など河川美化活動に加え、水上安全講習会の開催や川辺の賑わいづくりに寄与するイベントも開催しています。

主な活動場所



主な活動内容



横川商店街 ガワフェス



主な活動範囲



雁木清掃



佐波川SDGs 指定番号33号

河川協力団体活動状況(佐波川水系 山口河川国道事務所)

佐波川SDGsは、「誰一人取り残さない」という理念のもと、「持続可能な世界を実現する」ことを目指し、団体の活動拠点である佐波川において、河川環境保全活動を行っている。

主な活動としては、佐波川下流部の河川敷の清掃活動のほか、地域交流と清掃活動が一体となったイベント「佐波川流域大平山ふれあいの森づくり」に参加し、防府市と協力し、河川愛護の意識向上を図り、河川流域の美化を行っている。

主な活動場所



主な活動内容

佐波川流域大平山ふれあいの森づくりへの参加



ミズベリング参加の様子



佐波川一斉清掃への参加

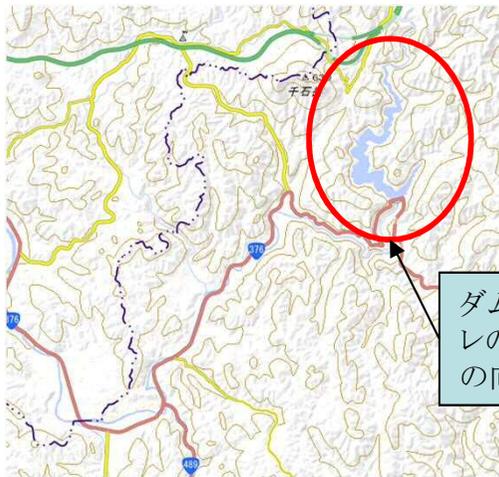


和田の里づくり推進協議会 指定番号34号 河川協力団体活動状況(佐波川水系 山口河川国道事務所)

和田の里づくり推進協議会は、住民相互の民主的な協議に基づき、心豊かな住みよい地域社会を築くことを目的に活動している団体である。

主な活動としては、島地川ダム湖周辺公園の維持管理活動のほか、山口河川国道事務所の島地川ダム見学会の補助や、「島地川ダムカレー」やダム貯蔵による島地川ダムの広報PR活動を実施している。

主な活動場所



ダム湖周辺の公園やトイレの清掃をし、ダム環境の向上・美化活動

主な活動内容

ダムカレー広報

周南市の野菜ソムリエ監修! “食べられるダム”
「島地川ダムカレー」販売開始!
～ 水源の郷をカレーで結ぶ ～

●令和2年1月22日(カレーの日)販売開始
●道の駅ソレーネ周南 地産地消レストラン ベーカリーキッチン「葉」
営業時間:11:00～15:00(ラストオーダー14:30)

ダムカレーとは…
ダムをモチーフにしたカレーです。ごんは雄雌、カールーは野みかを表現しています。2009年頃から全道中に様々な店が販売。

梨カレー
島野高原と備前地区で採れた梨果汁で甘(仕上げにブルーベリー(高瀬湖))に添え、水質浄化の様子を生クリームで表現しています。
●産地:島野高原、備前地区
●監修:野菜ソムリエ

地元の野菜
島地川ダム周辺地域の美味しい新鮮な野菜を野菜で表現しています。当野菜は季節によって変わります。

高瀬さしみこんにやく
水源地域である和地区の特産品です。おなが醤油や酢味噌がおすすめです。
●ごんは(和地区) 全農(和地区)産物加工

野菜ソムリエのオススメ
秋、冬に入っている「葉」は産地地区で原木を漬かして栽培している上質の葉子。オスチンが食べられます。

ダムを使った貯蔵広報

～ 和田の里タイムカプセル2020 実施方法 ～

◎保存方法: 2020年12月下旬より島地川ダムの地下室にて、10年間保存してもらいます。
和田地区ならではのタイムカプセルの保存方法「ダム貯蔵」。これも史上初!?

和田の里タイムカプセル2020 の開封は… 「2030年10月20日(日)和田総合まつり」で!

「和田の里タイムカプセル2020」にお申し込みの方は、2030年和田総合まつりにワクワクしながらお越しください。10年前の皆さんの思いが伝えます。お楽しみに! 多くのご参加をお待ちしています。

島地川ダム貯蔵試験実施

1月6日から、和田の里づくり推進協議会、高瀬をよくする会で、里芋、こんにやく芋、ジャガイモのダム貯蔵を行っています。島地川ダム事務所の協力で実現。

島地川ダム堰堤下部の貯蔵品

ダム湖周辺の清掃 (写真は黒川公園)



イベントの様子(ダム見学会の呼び込みなどの補助)



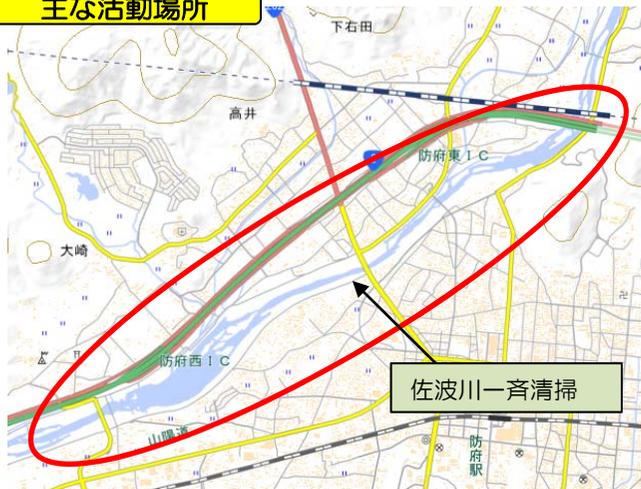
株式会社 井原組 指定番号35号

河川協力団体活動状況(佐波川水系 山口河川国道事務所)

株式会社 井原組は、山口市を拠点として土木工事等を行う法人であるが、佐波川の恩恵や水環境整備・保全の大切さを学ぶことを目的とした活動も実施している。

主な活動としては、佐波川上流部での河川敷の清掃活動や、河川愛護イベント開催など、地域と一体となって河川愛護の意識向上を図るとともに、河川流域の美化活動を行っている。

主な活動場所



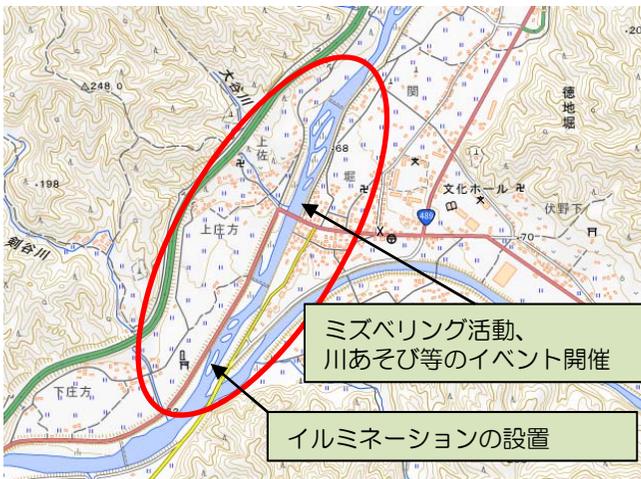
河川敷の清掃活動



とくち行って美夜(ミナイト) (堤防等へのイルミネーション設置)



川あそび等の河川愛護イベントの開催



古川トンボしらべ隊 指定番号36号

河川協力団体活動状況(太田川水系 太田川河川事務所)

古川トンボしらべ隊は、古川のトンボ相とその生態を解明し、古川の自然環境の魅力を発信することにより、利用者、地域住民及び関係行政の水辺環境保全意識の高揚を目的とした活動を行っている。

指定後おおむね5年間の活動実施計画については、古川の生物多様性や健全な水辺環境に対する地域住民の理解促進を図り、ひいては環境保全につなげるべく、野外観察会・パネル展示等を定期的に行うことを予定している。

主な活動場所



野外観察会の様子



モニタリング調査の様子



パネル展示



2023年度 活動状況

- ★モニタリング調査の実施 (計6回)
- ★観察会の実施 (計2回)
- ★公民館でのロビー展の実施 (期間中閲覧者919人)
- ★冊子を利用した自主啓発事業の実施 (計2回) 等